

令和 7 年度 秋サケ河川そ上予報

1 令和 7 年度河川そ上予測

河川毎に平成 27 年級以降の年齢別
回帰尾数、3～5 年前の卵収容実績と
過去の旬別河川回帰率を用いて時期
別の河川そ上予測を行ったところ、10
月下旬から 11 月上旬をピークとする
2.3 万尾となりました（図、表）。

各河川の旬別の 3～5 歳魚そ上予
測について、別表 1 のとおり令和 6 年
度の実績値（上段）、令和 7 年度予測上
限值（2 段目）、予測値（3 段目）、予
測下限値（下段）をとりまとめました。

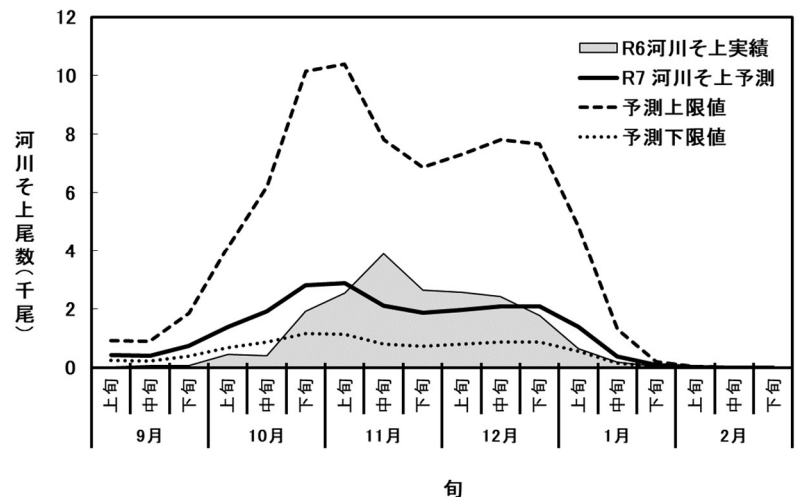


図 令和 7 年度旬別河川そ上予測と令和 6 年度
旬別河川そ上実績

表 令和 7 年度河川そ上予測結果

単位：尾

	予測下限値	予測値	予測上限値
沿岸河川	9, 535	22, 437	77, 625
北上川水系	35	166	855
合 計	9, 570	22, 603	78, 480

2 課題

予測どおり親魚がそ上した場合においても、雌の比率が 50%、雌 1 尾の卵数が 2,500 粒と仮定すると、雌を 80% 使用しても 2,200 万粒程度の採卵となり、7,500 万尾を生産するために 6,000 万粒程度の種卵が不足すると考えられます（別表 2）。

ふ化場再編マスタープランに従って、早期から種卵確保の体制を整えておくほか、確保した種卵を確実に飼育し、適期・適サイズ放流を行うことが重要です。

県全体の予測は、令和 7 年 7 月 30 日（水）に公表予定です。